

評価項目		判断基準		配点
1	信頼性	業務実施体制	① ・十分な知識や技術を有する人材を配置しているか。 ・構築から運用後の円滑な支援体制が整っているか。	35
		実績	② ・本サービスで提供するシステムの実績は十分か。	
		リスク対策	③ ・本システムを構築するにあたり、想定されるリスク対策が考慮されているか。	
		プレゼンテーション	④ ・プレゼンテーションは分かりやすく、説得力があるか。 ・質疑応答は適切に対応されているか。	
2	保守体制	保守実施体制	⑤ ・ハードトラブルなど、現地対応を必要とする障害について迅速な対応が実施できる体制が十分であるか。 ・システム問合せ、ハードウェア、ネットワーク障害など、一元的な保守実施が可能か。	20
		操作研修実施体制	⑥ ・初期導入時や本稼働後において、十分な研修が実施できるか。 ・職員異動等に伴い、随時操作研修が必要となる場合、保守範囲内で実施できるか。 ・操作マニュアルや運用マニュアルの具体的な提案がなされているか。	
3	システム性能	機能要件	⑦ ・システム必須機能要件を満たしているか。「×」なし(35点)、「×」2%未満(28点)、「×」5%未満(21点)、「×」10%未満(14点)、「×」10%以上(7点)	60
		操作性	⑧ ・視覚的に見やすいシステムとなっているか。 ・容易な画面展開が可能か。	
		上位互換性	⑨ ・法改正やユーザーの意見が反映されたバージョンアップが期待できるか。	
		セキュリティ対策等	⑩ ・情報の漏えいやウイルス等に対する対策及びデータのバックアップ方法は十分か。	
4	構築技術	データ移行	⑪ ・既存システムデータの移行手法について、具体的な移行方法の提案がされているか。	10
		スケジュール	⑫ ・余裕をもったスケジュールで構築を行うことができるか。	
5	独自提案	独自提案	⑬ ・仕様書以外に本業務に関連する有意義な提案があるか。 ・今後追加できる機能があるか。	5
6	見積書	システム構築費	⑭ 配点(10点) × 最低提案見積金額 / 提案見積金額 ※小数点以下切り捨て	20
		システム運用保守費	⑮ 配点(10点) × 最低提案見積金額 / 提案見積金額 ※小数点以下切り捨て	
合計点				150

※最低基準点について

審査会での最優秀提案者の選定にあたっては、90点以上の評価点であることを最低評価点とし、最低評価点を満たさない提案者は原則選定しない。